

自治体連携プラットフォーム構築事業について

— 地域共創社会の実現に向けて —

記者会見のご案内

このたび、地域共創社会の実現に向けて、高知県四万十市、阿蘇市、八代市が中核自治体として推進する「自治体連携プラットフォーム構築事業」がスタートします。本事業には熊本市、人吉市、甲佐町、湯前町、山鹿市、静岡県松崎町、長野県飯山市、長崎県西海市、神奈川県真鶴町、福井県高浜町などたくさん市の町村が参加・賛同を表明されています。

地域共創社会は、首都圏への一極集中、人口減による人手不足や財政難等に起因した地域社会の疲弊が進む中で、行政だけでは対応しきれない複雑な社会課題に対し、企業・教育機関・金融機関・住民・NPOなどが連携・協働して、地域の課題解決と新たな価値創造（イノベーション）に取り組むことを目指す社会のことです。

我々は、全国の自治体が連携した「自治体連携プラットフォーム」を「ゆるやかなつながり理論（P2P・SCB理論）」を用いて構築することによって、地域共創社会の実現を目指します。

この取り組みに先駆けて、中核自治体である高知県四万十市、阿蘇市、八代市の市長、ならびに、「ゆるやかなつながり理論」の提唱者である星合隆成氏による記者会見を下記の日程にて執り行います。

報道機関の皆様におかれましてはご多用のところ恐れ入りますが、取材の労をお取りいただきますようお願い申し上げます。

名称：自治体連携プラットフォーム構築事業に関する記者会見

日時：2025年12月24日（水）16:30～17:30

会場：阿蘇市役所

主催：四万十市／阿蘇市／八代市／（一社）SCBラボ／崇城大学IoT・AIセンター

【記者会見 内容】

- ・開会
- ・自治体連携プラットフォーム構築事業について
星合隆成 崇城大学情報学部教授（崇城大学IoT・AIセンター長／一社SCBラボ所長／阿蘇市地域DX推進協議会会長代理）
- ・中核自治体3市長による所信表明
山下元一郎 四万十市長
松嶋和子 阿蘇市長
小野泰輔 八代市長
- ・部会長紹介
- ・質疑応答
- ・閉会

※ゆるやかなつながり理論について



〈問い合わせ先〉

〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 504-1

阿蘇市役所経済部まちづくり課 【担当】：坂田・武田

TEL0967-22-3318／FAX0967-22-4566

E-mail : tomoaki-s@city.aso.lg.jp